

沖縄唯一、海のない町。

沖縄県 南風原町

鮮やかな歴史と文化息づく
実り豊かな黄金南風原の平和郷

私ははえるん
「南風原町」
読める？



HAEBARU-Profile



Tradition

伝統

南風原町には各集落に脈々と受け継がれる伝統芸能が数多くあります。地域を守るために始まったはらい芸能（災厄を払う）や、村遊びで親しまれてきた踊りや狂言などの芸能など、さまざまな伝統が現在でも受け継がれています。

南風原町の年間行事

- 1月 ▶ 町成人式
▶ 新春マラソン大会
- 2月 ▶ 生涯学習・公民館まつり
▶ 児童館まつり
▶ 町子ども会まつり
- 3月 ▶ 青少年スポーツ大会
- 4月 ▶ こいのぼり掲揚式
- 5月 ▶ 高齢者スポーツ大会
▶ 町老人連合会総会
▶ 児童館チャレンジ
▶ 交流スポーツ大会
- 6月 ▶ 交通安全教室
- 7月 ▶ 子ども会低学年スポーツ大会
▶ 少年の主張南風原大会
▶ 深夜はいかい防止一斉行動
▶ 夏休みキッズパーク
- 8月 ▶ 綱引きツアー（町内8カ所）
▶ ウチナーグチ大会
▶ ゼロゼロ大会
（交通安全啓発活動・防犯講習会）
▶ 島尻郡体育大会夏季大会
▶ 道路ふれあい清掃
- 9月 ▶ 町陸上競技大会
▶ 町小中学生陸上競技大会
▶ 慶祝訪問
▶ 町敬老会
- 10月 ▶ 歯の健康フェア
▶ 島尻郡陸上競技大会
▶ 老人大運動会
- 11月 ▶ かすり駅伝
▶ はえばるふるさと博覧会
（隔年開催）
▶ 町防災訓練
- 12月 ▶ 南風原総合文化祭
▶ ちゅら島町内一斉清掃



沖縄唯一海のない「はえばる」

沖縄県 南風原町

沖縄本島南部のほぼ中央に位置する南風原町は周囲を6市町（那覇市、豊見城市、南城市、八重瀬町、西原町、与那原町）に囲まれた県内で唯一、海に面していない町。緑に囲まれた穏やかな町は古くから交通の要所として発展、独自の歴史、文化を育んできました。

Culture

文化

数多くの史跡や文化財が残る南風原町。琉球王朝時代の人々の暮らしを見つめ、悲惨な沖縄戦をくぐり抜けてきた貴重な文化遺産は、未来に残したい町の宝物。先人たちの思いを時代を越えて、今に伝えてくれます。

照屋の石獅子

照屋をはじめ、兼城や本部に4基残される石獅子。集落を災いから守るフーチゲシ（邪気返し）や、ヒーゲシ（火返し）のために作られました。災いをにらみ返して追い払い集落を守ったといわれています。



無形民俗文化財

獅子舞

南風原町には宮平・喜屋武・本部の各集落にはらい芸能（災厄を払う）として獅子舞が伝えられ、それぞれ個性的な舞を見せます。



字宮平の「総掛け（かしかけ）」

戦後、二曲組で演じられるようになった古典女踊りの「総掛け」。宮平では三曲三部の貴重な伝統の型が残されています。



舞方棒（メーカタボウ）

棒を持ち、災厄や悪霊を払うために踊られる舞方棒。宮城・兼城・喜屋武・照屋・津嘉山・神里に残る伝統芸能です。



南風原町キャラクター

はえるん

町の花：ブーゲンビレア

半つる性の熱帯花木。朱やオレンジ、白など、さまざまな色の花を咲かせます。
（昭和57年12月25日告示）



町の木：リュウキュウコクタン

「黒木」とも呼ばれる常緑中木。庭木や街路樹としても人気。三線の樟にも使われます。
（昭和57年12月25日告示）



南風原町は
空港から
車で25分！



南風原町
HAEBARU-Town

南風原

検索

<http://www.haeburu-kankou.jp>

沖縄県島尻郡南風原町字本部158番地

TEL 098-851-7273 FAX 098-851-7109

MAIL chiiki-machidukuri@haeburu-kankou.jp

南風原町

HAEBARU-town

南風原町は空港から車で25分!

風光明媚な南風原町には12の集落があり、それぞれ歴史や文化が受け継がれています。各地に残る史跡や文化財をはじめ、伝統芸能や行事は今でも人々の暮らしの中で脈々と息づき、鮮やかな個性を放っています。さらに豊かな土地を活かした農業や、質の高さを誇る伝統工芸品など、南風原町に広がる地域の魅力をたっぷり紹介します。

字(アザ)ごとのパンフもあります!

6 Yonaha 与那覇

昔は近くまで海があったといわれる与那覇。ウサンダキには浦島伝説の主人公ウサンシーの墓と呼ばれるものがあり、御願所になっています。戦前のウサンダキは小高く、富士山のように美しい形をしていたといわれています



1 Arakawa 新川

琉球石造技術の粋を結集して与那原街道のナゲラ川に架けられた橋があり、東御廻(アガリウマーイ)【東方の聖地巡礼】や歴代の聞得大君(キコエオオキミ)の御新下り(ウアラウリ)にも利用されました。



5 Miyahira 宮平

宮平における教育の先駆者・仲村渠筑親雲上(ナカダカリチクペーチン)が地元の子もたちに学問を教えるために手習い所を創設。南風原町における教育の発祥地といわれ、教育を大切にしている伝統は今も息づいています。

南風原町には12の「字(アザ)」があり「字」ごとの祭りや文化が根付いています。

4 Kanegusuku 兼城

14世紀後半、首里より内嶺城按司(ウチミイグスクアジ)が一族を引き連れて上殿内毛(イントウンチモー)に内嶺グスク(城)を築きましたが、戦後その城跡は削られグスクの入口であった真南風の御嶽(マフェーノウタキ)が、そのよすがをしのばれます。



11 Yamakawa 山川

農業が盛んで県下でも屈指の野菜生産地として知られる山川。「農業用水の安定供給と活気あるユイマールのふるさとづくり」が認められ、平成21年度「沖縄ふるさと百選」に選ばれました。



8 Tsukazan 津嘉山

14世紀の察度王時代に中国から沖縄に伝わったとされる綱引き。毎年旧暦の6月26日に行われるウガンジナ(御願綱)と10年毎に行われるウーンナ(大綱)があり、盛大に行われます。



7 Motobu 本部

緋の名産地として知られる本部をはじめ、照屋、喜屋武には3つの集落をつなぐように緋ロードが整備され、道沿いにはかすり会館や工房などが並び、緋を織る心地よい音が響いています。



9 Teruya 照屋

琉球王朝時代にノロシ台や見張り台として使用されたデームイと呼ばれる小高い丘の南斜面に展開していた照屋。その頂上にはシーサーと御嶽があり、今でも信仰の場所として人々が訪れます。



12 Kamizato 神里

神里の獅子には額に三日月が描かれていてメスとされ県内でも珍しいもので、本部の獅子と雌雄一対といわれています。十五夜には集落にあるムートウヤー(宗家)を練り歩き、厄祓いをします。

10 Kyan 喜屋武

戦後いち早く復活した「十五夜遊び」。現在、南風原町で唯一現存する「長者の大主」という組踊をはじめ、「舞方棒(めーかたぼう)」や「獅子舞」といった演目が演じられ、町の無形民俗文化財になっています。

3 Miyagusuku 宮城

水の豊かな場所として知られる宮城。遙かいにしえに清らかな水をたたえていたウスクガー(井戸)には羽衣伝説が残され、今でも天女のジューファー(かんざし)が落ちていたという伝説があります。

2 Oona 大名

大名は廃藩置県と共に首里から地方へ来た土族が住みつけた3つのヤードイ集落を合わせて誕生した集落。その中に摩文仁家の始祖、尚弘毅の功績を讃えて、国王から贈られた拝領墓があり、町内唯一の県指定有形文化財に指定されています。



かすりの道

かすりロード

1989年に整備された本部・照屋・喜屋武にまたがる工芸の道。瓦やレンガをはめ込んだ塗装で、道の両側に立ち並ぶ緋(かすり)工房から織り機の音が「シャーラ・トントン」とのどかに響いてきます



歴史と伝統に彩られた美しき手仕事

かすり

インドに源を発し、東南アジアに広がった緋が琉球王朝時代に沖縄に伝わり、沖縄の気候風土にマッチした独自の緋へと進化。その伝統は「かすりの里南風原町」で着実に受け継がれています。

丹精込めて作る南風原かぼちゃ



沖縄一の生産量を誇る南風原町のかぼちゃ。太陽をたっぷり浴びたホクホクのかぼちゃは本土市場で人気があり、生産高の90%を本土出荷しています。

南国の色彩を放つ個性的な花 ストレリチア

年間約2万本のストレリチアを生産し、日本一の生産高を誇る南風原町。鮮やかな生花として人気があるだけでなく、茎の繊維を使い和紙づくりにも利用するなど、新しい試みも始まっています。



夏に欠かせない人気の沖縄野菜 へちま



夏野菜としてゴーヤと並んで人気のへちま。県内出荷の30%を南風原町が占め、日本一の生産高を誇ります。